

平成22年度・平成23年度 地域密着型金融の取組み結果について

当金庫は、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」における趣旨・要請等を踏まえ、「地域密着型金融推進計画」を策定し、

- ① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
- ② 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- ③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

を大きな柱とし、「アクションプログラムに基づく個別の取組み」の実施スケジュールに基づいて「地域密着型金融推進計画」を積極的に実践しているところです。

なお、平成22年度・平成23年度の具体的な取組み状況につきましては、以下のとおりです。

■ ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

◆ 創業・新事業支援機能等の強化

動機	営業地区内において、新たに事業を起そうとする意欲のある方へ、情報の提供と創業等資金の支援により、地域経済の活性化に寄与したい。	
内容	① 創業を計画・準備している独立意欲のある方または創業後2年以内の事業者へ開業資金、開業後の運転・設備資金等を融資しています。(商品名:あぶくまサポートⅢ・創業者支援資金) ② 信用保証協会、TKC会計人、日本政策金融公庫等の外部専門機関との連携を強化し、創業・新事業を側面から支援しています。	
成果	平成22年度	平成23年度
	① あぶくまサポートⅢの実績 ・ 新規実行 3件 10百万円 ・ 融資残高 8件 14百万円 ※ 金額等の融資条件に合致していない場合、プロパー資金で対応した案件もあります。 ② 外部専門機関との協議会・交流会等参加により、創業・新事業支援に係る情報交換を行っています。 ・ 信用保証協会との協議会 ・ TKC経営革新情報交換会 ・ TKC相馬部会定期総会 ・ TKC会計人との第11回交流会 ・ TKC経営革新セミナー2010 ・ 日本政策金融公庫との連携推進協議会 ③ 日本政策金融公庫との連携融資実績 (創業・新事業支援を含むすべての実績) ・ 新規実行 1件 6百万円 ・ 覚書締結後の融資実績累計 70件 792百万円	① あぶくまサポートⅢの実績 ・ 新規実行 1件 3百万円 ・ 融資残高 6件 12百万円 ② TKC会計人との交流会等参加により、創業・新事業支援に係る情報交換を行いました。 ・ TKC経営革新情報交換会 ・ TKC相馬部会定期総会 ・ TKC会計人との第12回交流会 ※ 東日本大震災の影響等により、信用保証協会、日本政策金融公庫との協議会は実施できませんでした。 ③ 日本政策金融公庫との連携融資実績 (創業・新事業支援を含むすべての実績) ・ 新規実行 なし ・ 覚書締結後の融資実績累計 70件 792百万円

◆ 要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化

動機	地元企業の育成・振興は、地域における当金庫に期待される重要な役割であり、取引先企業の経営改善を支援・指導することにより、企業の経営悪化を防止し、財務内容の健全化に資するものとした。	
内容	① 経営支援企業を選定し、当金庫がアドバイス等のサポートをすることにより、当該企業の健全化を図っています。 ② 営業部店長を経営支援責任者とし、本部担当部署と協力して指導・支援にあたっています。	
成果	平成22年度	平成23年度
	① 経営支援企業53先を選定。 ランクアップ支援12先、ランクダウン防止41先 ② 経営支援企業53先のうち、 ランクアップ企業1先、ランクダウン企業1先	① 東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響により、当金庫の数多くのお取引先が被災している現状から、経営支援企業は選定せず、被災されているお取引先の支援を図るため、数多くの条件変更、資金供給を実施することに重点を置き対応してまいりました。 ② 「経営支援会議」を計3回開催し、被害の把握、震災対応を中心にお取引先の経営支援に取組みました。

■ 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

◆ 不動産担保・保証に過度に依存しない融資〔地域密着型金融推進商品〕の促進

動機	事業価値を見極める融資手法をはじめ中小・小規模企業に適した資金供給手法の徹底を図るため、担保・保証(特に個人保証)に過度に依存しない融資の推進は有効であり、また、中小・小規模企業金融の円滑化を図るためには、緊急保証制度を含む信用保証協会の積極的な活用が不可欠であり、より一層の活用を図りたい。	
内容	① 担保・保証(特に個人保証)に過度に依存しない融資及び緊急保証制度を地域密着型金融推進商品と位置づけ、年間実行額2,000百万円を目標に促進を図っています。 ② 地域密着型金融推進商品は次のとおりです。 - あぶくまサポート2000 & 5000〔福島県信用保証協会・特別追認保証〕 - あぶくまエクスプレス3000 & 800〔宮城県信用保証協会〕 - 緊急保証制度〔信用保証協会〕 - あぶくまビジネスローン〔商工会議所・商工会連携〕 - あぶくまパワーサポートⅠ〔事業資金カードローン〕 - TKC経営者ローン〔TKC連携〕 - あぶくまサポートⅢ〔創業者支援資金〕	
成果	平成22年度	平成23年度
	① 地域密着型金融推進商品融資実績 - 新規実行 223件 1,545百万円 - 融資残高 1,072件 5,541百万円	① 地域密着型金融推進商品融資実績 - 新規実行 84件 1,673百万円 - 融資残高 987件 6,286百万円

◆ 目利き能力・経営支援能力等の向上、人材の育成

動機	地域密着型金融推進のための態勢整備を図るため、利用者ニーズに対応できる十分な金融手法や各種事業の知識を持った人材を育成したい。	
内容	企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組みを継続するため、(社)東北地区信用金庫協会等信用金庫関係団体が主催する研修会へ積極的に職員を派遣し、人材の育成を図るとともに、利用者ニーズに対応できる目利き能力・経営支援能力等を修得させる。	
成果	平成22年度	平成23年度
	① 目利き能力・経営支援能力等を修得させるため、下記研修に職員を派遣しました。 〔地区協主催〕 - 地域密着実践研修 - 目利き力養成研修 〔県協主催〕 - 融資実務講座 - 融資開拓推進講座 〔金庫主催・外部講師〕 - 融資推進研修 - 貸出金管理回収研修 - 目利き融資推進講座 - 融資渉外養成研修	① 東日本大震災の影響により、信用金庫関係団体が主催する研修会への派遣は見合わせました。 ② 東日本大震災からの復旧・復興に向け、従前にも増して専門的な知識が必要とされることから、公的支援制度の活用方法、当金庫が取扱う復興支援商品の推進方法および公的機構を活用した二重ローンの対策等についてテレビ会議を開催し、庫内研修の充実を図りました。

■ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

◆ 地域を担う若手経営者・後継者に対する情報提供機能の強化

動機	地域を担う若手経営者・後継者に対する情報提供機能の強化に向けた取組みを継続的にを行い、地域経済へ貢献したい。	
内容	あぶくま元気塾を開催し、地域を担う若手経営者・後継者にビジネスマッチングの場を提供、さらに経営に有益な各種情報を継続的に提供しています。	
成果	平成22年度	平成23年度
	① あぶくま元気塾活動状況は次のとおりです。 - 会員へレポート等の資料配布 - 経営力向上セミナー開催 平成22年4月 第3回経営力向上セミナー 平成22年5月 第4回経営力向上セミナー 平成23年2月 「経営者のための会計力」 - ビジネスマッチング東北フェア2010参加 - 役員研修会開催 - 第8回総会開催および講演会開催	① 当金庫は、あぶくま元気塾会員をはじめ、お取引先のビジネスチャンス創出支援の一環として、(社)東北地区信用金庫協会が主催する「ビジネスマッチ東北」の加盟金庫として参画し、お取引先に出展および参加案内を行っております。 ② 平成24年3月13日に開催された「ビジネスマッチ東北ハンズオン事業」において、お取引先2社(A社:電気部品製造業、B社:コンクリート二次製品製造業)から販路開拓支援の応募があり、A社が首都圏販路開拓支援対象企業に、B社が東北地区販路開拓支援対象企業に選定されました。

■ 平成22年度 経営改善支援先の取組み実績

(単位: 先数、%)

債務者区分	期初 債務者数 A	うち 経営改善 支援取組先 α	α のうち 期末に 債務者区分 が上昇した 先 β	α のうち 期末に 債務者区分 が変化しな かった先 γ	α のうち 経営改善 計画を策定 した先 δ	経営改善 支援取組率 α / A	ランクアップ 率 β / α	経営改善 計画策定率 δ / α
正常先	855	3	－	2	3	0.3 %	0.0 %	100.0 %
その他要注意先	293	47	－	47	47	16.0 %	0.0 %	100.0 %
要管理先	17	2	1	1	2	11.7 %	50.0 %	100.0 %
破綻懸念先	18	1	－	1	1	5.5 %	0.0 %	100.0 %
実質破綻先	53	－	－	－	－	－	－	－
破綻先	3	－	－	－	－	－	－	－
合計	1,239	53	1	51	53	4.2 %	1.8 %	100.0 %

- ・ 期初債務者数及び債務者区分は平成22年4月当初時点で整理しています。
- ・ 債務者数、経営改善支援取組先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・ β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者はα に含めるもののβ に含みません。
- ・ 期初の債務者区分が「要管理先」であった先が期末に債務者区分が「その他要注意先」にランクアップした場合はβ に含めます。
- ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
- ・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。

■ 平成23年度 経営改善支援の取組み実績

お取引先に対する経営改善支援につきましては、例年、経営支援企業を選定し、営業部店長を経営支援責任者として、営業店と本部担当部署が協力して取組んでおります。しかし、平成23年度は東日本大震災および福島第一原子力発電所事故の影響により、当金庫の数多くのお取引先が被災している現状から、経営支援企業は選定せず、被災されているお取引先の支援を図るため、数多くの条件変更、資金供給を実施することに重点を置き対応してまいりました。また、各営業店と本部担当部署による「経営支援会議」を計3回開催し、被害の把握、震災対応を中心にお取引先の経営支援に取り組みました。

● 当金庫被災債権の状況

(単位: 先数、百万円)

	23/3末	H24/3末	増減
先数	4,293	3,151	-1,142
残高	29,716	26,516	-3,200

● 東日本大震災以降の条件変更実績

(単位: 先数、百万円)

24/3末	震災以降累計	
	先数	金額
事業性資金	314	14,506
住宅資金	249	2,324
その他	123	310
合計	686	17,140

● 被災者向け新規融資の実行状況

(単位: 先数、百万円)

24/3末	震災以降累計		うち 条件変更先に 対する新規融資	
	先数	金額	先数	金額
事業性資金	200	4,224	67	1,674
うち運転資金	172	3,610	60	1,509
うち設備資金	28	613	7	164
住宅資金	11	166	1	20
その他	1	1	－	－
合計	212	4,391	68	1,694